

# ラジオ波による 深部温熱を操る。

深部熱・温熱効果

疼痛の改善

筋痙縮の改善

関節性拘縮の改善



## ラジオ波温熱セミナー 福岡

**テーマ** 肩部・腰部・股関節への遠隔アプローチ法

**日時** 2019年12月8日(日)  
10:00~16:00(受付9:30~)

**場所** パピヨン24 3階 5号会議室  
福岡県福岡市博多区千代1丁目17-1

**参加費** 5,000円 **定員** 20名

**お申込**

弊社「酒井医療」のホームページよりお申込みください。トップページの「セミナーイベント」から「セミナー一覧」ページへアクセスすることができます。該当のセミナーからお申込フォームにご入力ください。

### 講師紹介



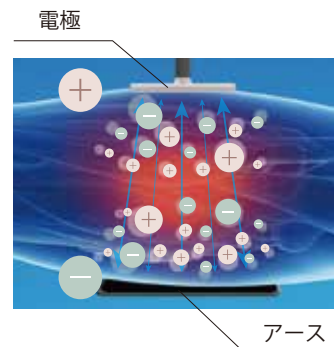
小林伸勝 (nobukatsu kobayashi)

・伸整骨院(大阪府) 院長  
・柔道整復師

# 「抵抗の高い場所に温熱が集まる」特性

## ラジオ波温熱の原理

電極とアースで体をはさみ、+極と-極を1秒あたり数十万回変化させて体内の分子を振動させることで、分子同士の摩擦熱（ジュール熱）を発生させることで体を温めます。体外から熱を与えるのではなく、体内で熱を発生させる深部加温が可能です。そして従来の温熱機器と大きく異なるのは「抵抗の高い場所に温熱が集まる」というラジオ波の特性にあります。



## 2種類のプローブで様々なアプローチを実現

### 軟部組織

筋肉	筋膜
腱膜	血管
リンパ	



### 硬組織

靭帯	腱
関節	骨膜
骨	



## 高い疼痛緩和効果と 温熱持続性の実証

15分の施術で、温熱の届く深さは5~10cm、体内温度を3~5℃高めます。施術後も体内温度はすぐに下がることがなく、3~4時間維持される特長を持っています。腰痛を含めた様々な疾患に苦しんでいる患者※の81%に対して痛みの軽減に高い効果が認められています。



※ 引用文献：腰痛に対する静電容量の電気転送温熱療法の臨床効果

Clinical Effect of Capacitive Electric Transfer Hyperthermia Therapy for Lumbago

Kuniyasu Takahashi1), Tetsuo Suyama1), Makiko Onodera1), Shigeru Hirabayashi2), Nobuyuki Tsuzuki2), Li Zhong-Shi2) 1) Department of Rehabilitation, Saitama Medical Center, Saitama Medical School, Kamoda-Tsujidomachi 1981, Kawagoe City, Saitama 350-8550, Japan 2) Department of Orthopaedic Surgery, Saitama Medical Center, Saitama Medical School J.Phys.Ther.Sci.11:45-51,1999 © The Society of Physical Therapy Science

### セミナー会場



### お問い合わせ

酒井医療株式会社：092-588-9331  
(当日のご連絡先：080-5940-5632)